



奈良県立医科大学眼科ニュースレター Vol. 21

ご挨拶

教授 緒方奈保子



皆様いかがお過ごしでしょうか？

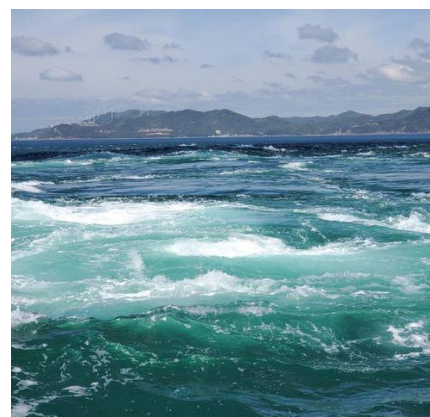
昨年度7月眼科同窓会勉強会および懇親会は COVID-19 のため中止致しました。1年後は落ち着いているだろうとみんなが思ったわけです。。。しかし、季節は移り変わり、1年経過しましたが、ワクチン接種が進んできているとは言え、まだまだ感染蔓延は予断を許さない状況です。昨年より学会や研究会は、ほぼ全て Web 開催、ハイブリッド、リモート、オンデマンド配信となりました。このスタイルにも随分慣れてきましたし、まあ、それなりに便利な面も多々ありますので、今後も無くならず続きそうですね。学会出張がなくなり、おかげさまで医局の出張費支出が減りました。海外の学会出張もしばらくは無理そうですから、今年度も出張費支出は少なく済みます。会議もリモートがほとんどになりました。しかし、face to face でしたい話もありますし、たまたま顔を合わせた時に急展開で進む話もあります。なんか便利なような、もの足りないようなものかしさも残ります。

COVID-19 で診療が制限された時、その分の時間を今までできなかった論文執筆に当てる人が増えたようで、一時 review 依頼がととも増えました。今までにできなかったことをこの機会にと考える人は多いようで、ある面、新しいことに挑戦できるチャンスかもしれません。ただ、COVID19 感染には病院全体全科体制の対応で、眼科医局員も内科医指導のもとに患者の主治医を務めており、新しいことへの挑戦かもしれませんが、あまり嬉しくないことも多くあります。

オリンピック&パラリンピックは開催されるようですが、このような状況下ではなんとなく盛り上がりには欠けますね。もともとオリンピックチケットは申し込んでもいなかったもので、自宅で観戦という状況は変わりなさそうです。

何度か緊急事態宣言が発出され、個人的には休暇を”宮古島”で過ごすはずが、”淡路島”になったりと、少し悲しい思いもしましたが、日本の良さを見直す機会にもなりました。

しかし、ワクチン接種が進み、リアルの会も開催され、海外にも行ける日が早く来ることが待ち望まれます。それまでは、ワクチン接種したから、と油断せず感染防止に努めましょう。



写真：初めて見た、鳴門の渦潮

講演会

第19回奈良県眼科万葉フォーラム

2021年5月19日（土）に、COVID-19対策としてWEB配信にて行われました。

今回は学術講演として、大阪大学視覚先端医学寄附講座准教授の三木篤也先生に『眼底、OCT診断のレベルアップ』、特別講演として、大分大学医学部眼科学教授の久保田敏昭先生に『緑内障の隅角繊維柱帯の診断』と題してご講演いただきました。

日々の診断に不可欠な画像診断についての最新知見をご講演いただき、非常に勉強になりました。また、緑内障の診療には日々悩んでおりますので、これからもさらに学んでいかねばと、改めて決意した次第です。誠にありがとうございました。

第19回 奈良県眼科万葉フォーラム
【 Webライブ形式 日本眼科学会専門医認定事業 】

講師 陛下、先生におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。
今回は、Webライブ形式にて、下記の通り開催させていただきます。
ご多用とは存じますが、皆様のご参加を心よりお待ちしております。 謹白
奈良県立医科大学 眼科 緒方奈保子

日時 2021年 **5月15日(土)** 16:00~18:00
単位 日本眼科学会専門医制度認定事業 2単位
会費 1000円 ※ 眼科専門医申請ご希望の先生のみ、事前振り込み
※ 専門医申請希望なし又は、コメディカルの皆様は無料です。
申込 ※ 詳細につきましては、裏面参照の上、ご対応よろしくお願ひ申し上げます。

学術講演 16:00~17:00 (質疑応答 16:50~17:00)
座長 上田 哲生 先生 奈良県立医科大学 眼科学 准教授
演題 『 眼底、OCT診断のレベルアップ 』
三木 篤也 先生 大阪大学 視覚先端医学寄附講座 准教授

特別講演 17:00~18:00 (質疑応答 17:50~18:00)
座長 緒方 奈保子 先生 奈良県立医科大学 眼科学 教授
演題 『 緑内障の隅角繊維柱帯の診断 』
久保田 敏昭 先生 大分大学 医学部 眼科学 教授

第5回 NORS の会

2021年5月29日に、ホテル日航奈良と奈良県立医科大学眼科学教室研究室にて行われました。

今年は、COVID-19の影響により、混雑を避ける目的で2会場に分かれて豚眼実習を行いました。大学では臨床実習を十分に行えていない感がありましたので、十分な感染対策を行ったうえで、実際に対面して行う実習の効果をより一層実感しました。

そのあと、北海道大学眼科学教室教授の石田晋先生の講演会をWEB配信により拝聴しました。臨床現場においても、研究現場においても、共に働く同期や研究者との人間関係が重要であることを改めて学ぶことが出来ました。また、学生の皆さんとともに講演を聞くことで大変勉強になりました。

第5回 NORSの会 Nara Ophthalmic Research Symposium

Ⅲ. 特別講演
**『 アカデミアに生きる眼科医の1例
～ヒューマンサイエンスの重要性～ 』**

座長 奈良県立医科大学 眼科学教室 教授 緒方 奈保子 先生
北海道大学眼科学教室 教授 石田 晋 先生

共催 NORSの会 千寿製薬株式会社



新入医局員の御挨拶

5名の新入医局員が入局しましたので挨拶をしていただきます。

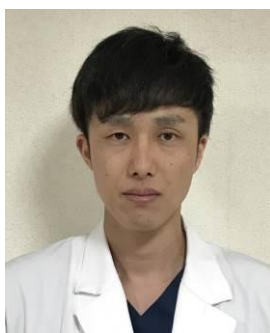


井本翔

本年度より奈良県立医科大学眼科学教室でお世話になっております、井本翔と申します。

趣味はゴルフで休日はラウンドや練習によく行きます。日課はオリックス・バファローズの試合結果に一喜一憂することです。

奈良県出身で、奈良県の眼科医療に貢献できるよう精一杯努力いたしますので、ご指導ご鞭撻のほど宜しくお願いします。



倉石隆弘

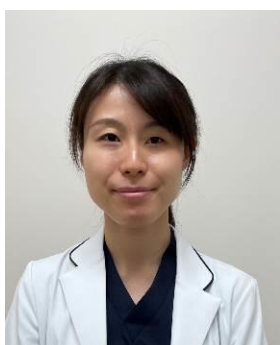
4月より奈良県立医科大学 眼科学教室でお世話になっております倉石隆弘と申します。

長野県出身で卒業大学は防衛医科大学校です。眼科は内科と外科の要素を持ち合わせあることに魅力を感じております。まだまだ若輩者で至らない点も多いかと思いますがご指導ご鞭撻のほどよろしく申し上げます。



倉岡大希

本年度より奈良医大眼科学教室でお世話になっております、倉岡大希と申します。趣味はトロンボーンを吹くことで、最近ではコロナ禍で集まれていませんが、休日はオーケストラに参加したりしています。まだまだ至らぬ点ばかりですが、一人前の眼科医になれるよう日々努力して参りますので、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。



萬代恵美

4月より奈良県立医科大学眼科学教室に入局させていただきました、萬代恵美と申します。生まれ育った奈良の地で、眼科医として働けることを嬉しく思います。地域の皆様に信頼される医師となれるよう、一つ一つの症例を大切に、日々精進し学びを深めていく所存です。ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



保田慎之亮

今年4月に奈良県立医科大学眼科学教室に入局いたしました、保田慎之亮です。趣味はゲームで、最近はどうぶつの森にはまっています。広島県出身なので、もちろん広島カープの熱烈なファンです。野球についても手術の技術についても、常に同期の井本先生とはライバル関係です。すべての患者さんに一球入魂の姿勢で臨んでまいりますので、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

昇任の報告

辻中先生、後岡先生が学内講師に昇任されましたので挨拶させていただきます。

辻中大生

令和3年4月より学内講師を拝命しました。

まだまだ、未熟者で自分にはもったいない役職であると思いますが、親に報告したところ、喜んでくれていたので、少しは親孝行できたのかなと思っています（笑）。

外来では、角膜疾患、並びに糖尿病網膜症を中心とした網膜硝子体疾患を中心に診察させていただいております。

役職に恥じないよう臨床、研究等さらに邁進してまいりたいと思っておりますので、これからもご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。



後岡克典

私はこれまで関連病院（市立奈良病院、奈良県総合医療センター）で約5年半、勤務しておりました。2018年から3年間、大学で働いております。

関連病院での勤務のほうが長く大学特有の疾患に苦慮しながら、網膜硝子体疾患を中心に日々の診療や手術を行っております。

学内講師の大役を仰せつかり、気を引き締めて精進する所存です。

今後とも宜しく申し上げます。



専門医合格の報告

平井先生、竹内先生が専門医に合格されましたので報告させていただきます。



平井宏昌

この度、竹内先生とともに無事第32回眼科専門医試験に合格することができました。諸先生方においては、日常診療と同時に試験の過去問に対する素朴(?)な疑問等も丁寧にお答え頂き大変感謝しております。

今回の試験は異例づくめでした。本来は6月東京にて2日間開催される予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大に伴う処置として、12月に日本各地にて1日限りの分散開催となり、私たちは大阪での参加となりました。面接試験が小論文形態に変更となるなど戸惑う部分もありましたが、無事終えることができました。今後の試験形態も当面はこのような形が続くのではないかと思います。

ワクチン接種が始まりつつありますが依然コロナは予断を許さない状況です。皆様におかれましても引き続き感染対策等ご注意頂き、私も奈良県の医療に携わるにあたり、微力ではありますが引き続き日常診療にあたりたいと思います。どうぞこれからもよろしくお願い申し上げます。



竹内崇

南奈良総合医療センターの竹内です。コロナ禍の影響で当初より半年遅れの2020年12月に眼科専門医試験が行われました。例年の面接に代わり、小論文試験が実施されるとのことで、不安の大きな試験でした。先輩方にアドバイスをいただいたり、同期の平井先生と勉強会を開いたりして、何とか合格できました。ありがとうございました。

まだまだ未熟ではありますが、これからもより一層精進して参りますので、今後ともよろしくお願い申し上げます。

復職の報告

宮田先生が育児休暇から復職されましたので報告させていただきます。

2021年6月より復職しました。

約1年6ヶ月ぶりの現場で戸惑うことも多いですが、奈良の医療に少しでもお役に立てるよう頑張りたいと思います。

引き続きのご指導・ご鞭撻を賜りたく何卒よろしくお願い申し上げます。



学会の報告

平井先生、西山先生、和田先生が日本眼科学会に参加されましたので報告させていただきます。

平井宏昌

今回 2021 年日眼にて、当院輸血部にて研究させて頂いておりました血漿 von Willebrand 因子と網膜静脈閉塞症の治療前後の比較検討に関する発表をさせて頂きました。

今回はWEBでの発表となり通常のポスター発表とは異なる点も多くありました。また他の発表もWEB上で後日閲覧となりましたが、会場で見るとはまた違った部分が多くありました。

西山武孝

第 125 回日本眼科学会総会に参加しました。

新型コロナウイルス流行が続く中でのハイブリッド開催となり、私は WEB でのポスター発表という形で、現在大学院で研究中のテーマを発表させていただきました。

現地での参加はできませんでしたが、発表の準備をする中でこれまでの研究内容を振り返り、整理することができたので、良い機会であったかと思われまます。他の先生方の発表も興味深い内容が多く、よい刺激になりました。今後もしばらくはコロナ禍が続くことになるとは思いますが、また以前のような開催形態での学会が開かれることを心待ちにしています。

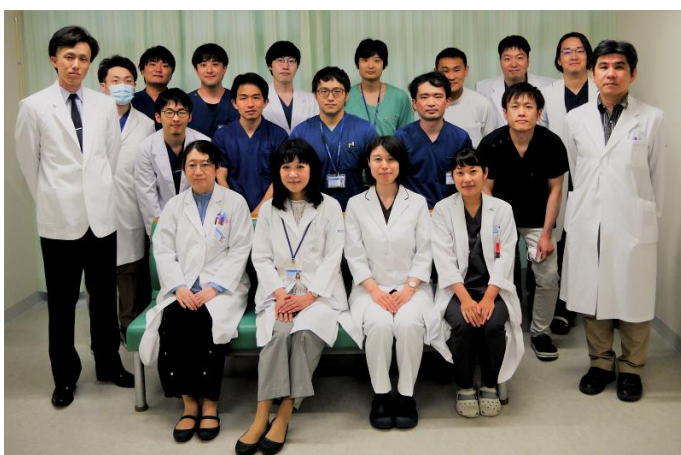
和田大史

眼科 2 年目の和田と申します。諸先生方には平素よりご指導賜り誠に有難うございます。

本年 4 月、第 125 回日本眼科学会総会のポスターセッションで黄斑円孔の術後視力に関する因子について発表致しました。OCT c-scan を用いて円孔を径のみでなく面積やその他多数の円孔症例の特性について調べる機会を得ました。コロナ禍中につき、今回は会場での発表はなく、音声を吹き込んだスライドのオンライン上での投稿となりましたが、貴重な経験をさせて頂きました。

今後とも宜しくお願い申し上げます。

集合写真



新しくなった研究室の前に、共有の素敵なカンファレンスルームが出来ました。ネット完備で大きなテレビ画面を備えているので、WEB 会議などに最適です。

写真にはローテーターの先生も入っていますが、来年は入局してくれるかしら！？

(写真：2021 年 4 月撮影)

論文掲載

宮田先生の論文がアクセプトされましたので、ご報告いただきます。

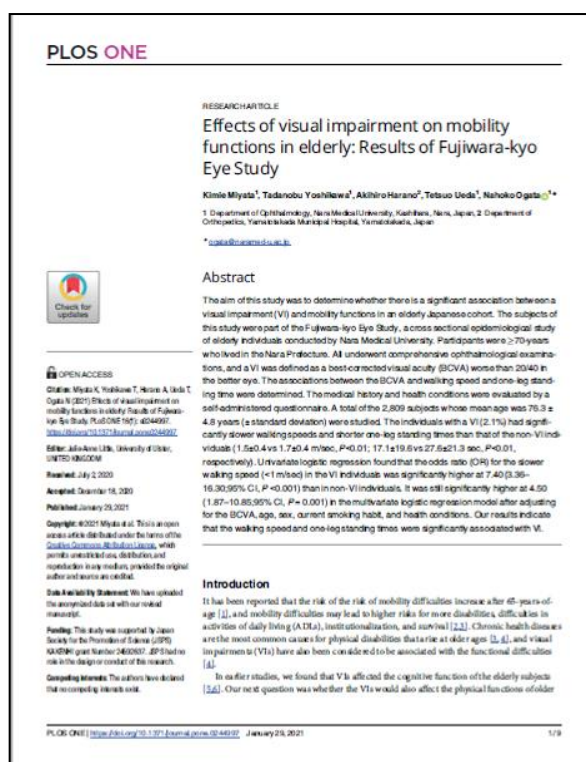
Effects of visual impairment on mobility functions in elderly: Results of Fujiwara-kyo Eye Study
Kimie Miyata, Tadanobu Yoshikawa, Akihiro Harano, Tetsuo Ueda, Nahoko Ogata
PLoS One. 2021; doi.org/10.1371/journal.pone.0244997

超高齢社会である日本において、高齢者の身体機能を維持し健康寿命を保つことの意義は高い。身体機能の低下は、社会からの隔離、さらなる身体的障害、日常生活動作 (activities of daily living : (ADLs))の低下、死亡率の増加を引き起こす。視機能は身体機能に影響をおよぼすと考えられており、以前我々は視機能と認知機能の関連を報告した。歩行速度は身体機能の重要な因子の1つであるが、視機能との関連について高齢者を対象とした大規模疫学調査は乏しい。今回我々は奈良県在住の70歳以上の高齢者対象の疫学研究である藤原京スタディ参加者2809名(平均年齢76.3歳)に対して、視力不良群(矯正視力0.5未満)60名と視力良好群2096名の2群間の歩行速度を評価した。多変量ロジスティック回帰分析で視力不良群は視力良好群と比較して歩行速度低下(<1 m/秒)が有意に多かった(OR = 4.5, 95% CI 1.87, 10.85, P=0.001)。

今後の予定

2021年7月4日(日)	眼科学教室夏の同窓会	ハイブリッド開催
2021年8月26日(木)	第8回奈良県眼科まほろばフォーラム	WEB開催
2021年9月4日(土)	第20回奈良県眼科万葉フォーラム	WEB開催
2021年12月12日(日)	眼科学教室冬の同窓会	ホテル日航奈良

日本各地のご高名な先生方をお招きし、最新の知見を得る絶好の機会です。医師はもちろん、研修医・ORTの皆様の参加を心よりお待ちしております。詳しくは、教室ホームページをご覧ください。



外来診察表

		月	火	水	木	金
1診	午前	西	上田		緒方	手術日
	午後	小児・神経眼科外来	網膜硝子体外来	吉川 緑内障外来 ※予約のみ	網膜硝子体外来	専門外来
2診	午前	後岡	大熊 (第1・3)	手術日	小林 (第1・3・5)	手術日
	午後	網膜硝子体外来	小児・黄斑外来	専門外来	峯 (第2・4)	専門外来
3診	午前	宮田	治村	手術日	辻中	手術日
	午後	緑内障外来	網膜硝子体外来	専門外来	角膜外来	専門外来
4診	午前	水澤	中尾	手術日	平井	手術日
	午後	網膜・ぶどう膜外来	中尾	専門外来	角膜外来	専門外来
5診	午前	倉石	岡部	手術日	倉石	手術日
	午後	倉石	岡部	専門外来	倉石	専門外来
6診	午前		和田		寺田	
	午後		和田		寺田	

- ・ 専門外来は完全予約制です。
- ・ 初診の場合はまず、月・火・木の外来を受診するようお願い致します。
- ・ 地域連携の予約は月が6名、火・木が8名、水・金は5名可能となっております。

編集後記

平素は奈良県立医科大学眼科学教室の運営にお力添え頂き、誠に有難うございます。ニュースレターは、今回で21回目の発行となりました。ニュースレターでは引き続き、同窓会の諸先生方からのご投稿をお待ちしております。先生が日頃感じておられることや、趣味のお話など、どのような内容でも結構です。

ご投稿、ご質問などは下記メールアドレスまでよろしくお願い致します。

tomon@naramed-u.ac.jp 奈良県立医科大学 眼科 西 智